

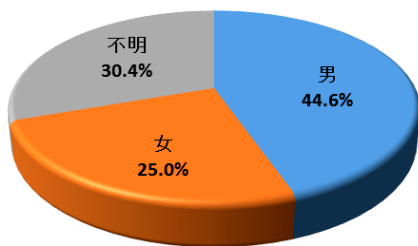
平成27年度市民ノーマイカーデーに関するアンケート調査結果

平成27年度市民ノーマイカーデーの実績報告者は237人、アンケート提出が212件であった。(アンケート回収率89.5%)

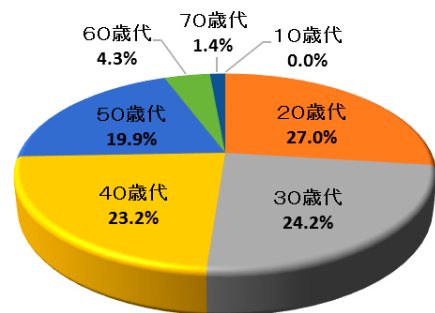
問1 あなたの性別・年齢について

参加者の男女比は男44.6%、女25.0%、不明が30.4%であった。
 年齢構成は、20歳代が27.0%と最も多く、次いで30歳代、40歳代、50歳代の順となり、10歳代の参加者は無かった。

問1 性別



問1 年齢

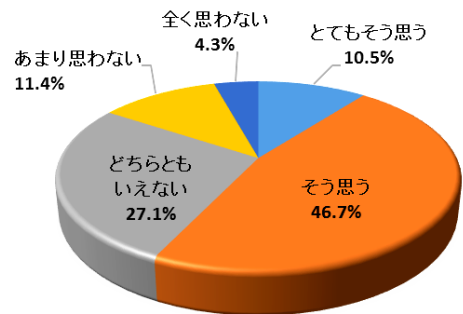


問2 「ノーマイカーデー」に参加してどのように感じたかお聞かせください

(1) 今後、マイカーの利用を減らそうと考えるきっかけになりましたか？

「とてもそう思う」、「そう思う」を合わせると半数以上を占めるが、「どちらともいえない」も27.1%と一定数いることは、これまでと同様の傾向である。
 また、「あまり思わない」、「全く思わない」を合わせた比率は昨年よりも、2.2ポイント増加し、2年連続で微増する結果となった。

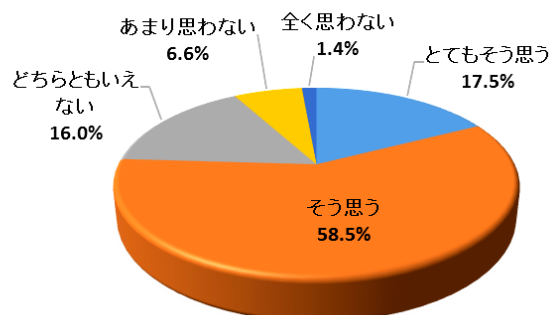
問2 マイカー利用を減らすきっかけになりましたか？



(2) ノーマイカーデーの取り組みは、環境意識の向上に役立つと思いますか？

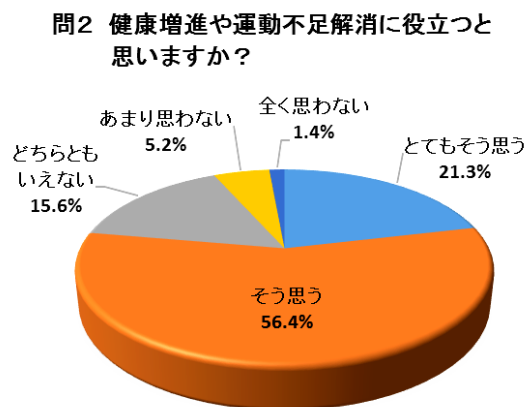
「とてもそう思う」、「そう思う」を合わせると76%で、昨年より2.5ポイント増加し、「どちらともいえない」が16.0%と昨年より2.6ポイント減少していることから、環境意識の向上に一定の効果があるとの認識が定着しつつあると考える。
 今後も、環境面での効果について、情報発信を強化・継続することが必要である。

問2 環境意識の向上に役立つと思いますか？



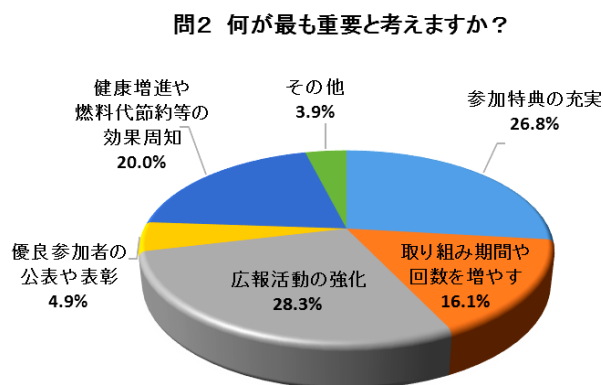
(3) ノーマイカーデーの取り組みは、健康増進や運動不足解消に役立つと思いますか？

ノーマイカーデーの副次的な効果についての質問であるが、「とてもそう思う」、「そう思う」を合わせると77.7%で、昨年より9.3ポイント増加となった。
また、環境意識の向上よりも、健康増進や運動不足解消に役立つと考える参加者が増加傾向にあることから、今後は、ノーマイカーデーの取り組み拡大に向け、これらの副次的効果についても積極的にPRすることが必要と考える。



(4) 公共交通の利便性向上以外で、ノーマイカーデーの取り組みを拡大・継続するためには何が最も重要と考えますか？

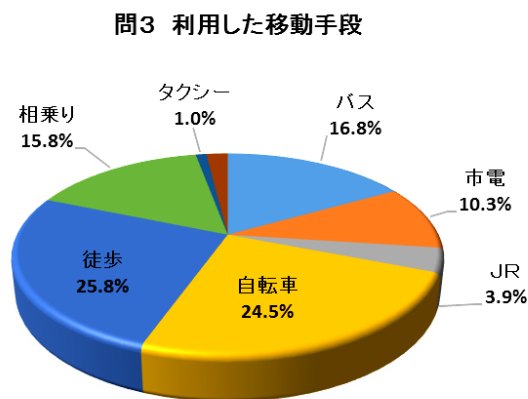
「広報活動の強化」が28.3%で最も多く、次いで「参加特典の充実」が26.8%、「健康増進や燃料代節約等の効果周知」が20.0%であった。
これら上位3つの選択肢を合わせると75.1%であり、今後の参考としたい。
また、「取り組み期間や回数を増やす」は16.1%で昨年と同程度であった。



問3 移動手段とその利便性についてお聞きします

(1) 利用した移動手段についてお答えください。(複数回答)

「徒歩」が25.8%と最も多く、次いで「自転車」が24.5%、「バス」16.8%、「相乗り」15.8%、「市電」10.3%となり、昨年と比較して自転車での移動が増加し、バスが減少する結果となった。
なお、移動目的は約7割が通勤であり、参加者の平均移動距離は、11.1kmであった。

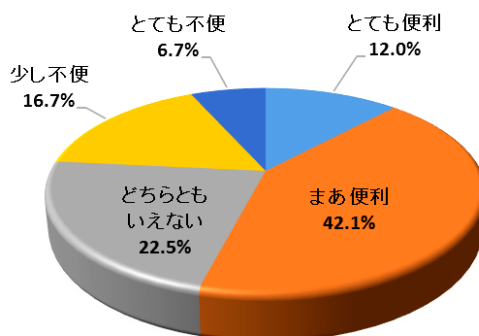


(2) 利用した移動手段の利便性はいかがでしたか？

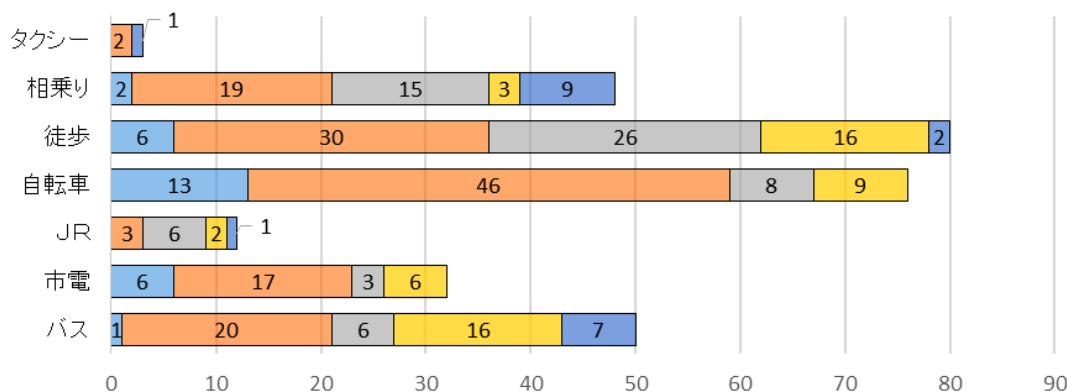
「とても便利」、「まあ便利」を合わせると54.1%となり、参加者の半数以上は比較的快適に移動している。

移動手段別で「とても便利」、「まあ便利」を合わせた回答が多いのは、自転車、徒歩、市電の順であるが、徒歩については、「少し不便」、「とても不便」を合わせた回答も多いため、利便性の評価が分かれる結果となった。

問3 利用した移動手段の利便性



利用した移動手段の利便性



	バス	市電	JR	自転車	徒歩	相乗り	タクシー
■とても便利	1	6	0	13	6	2	0
■まあ便利	20	17	3	46	30	19	2
■どちらともいえない	6	3	6	8	26	15	0
■少し不便	16	6	2	9	16	3	0
■とても不便	7	0	1	0	2	9	1

■とても便利 ■まあ便利 ■どちらともいえない ■少し不便 ■とても不便

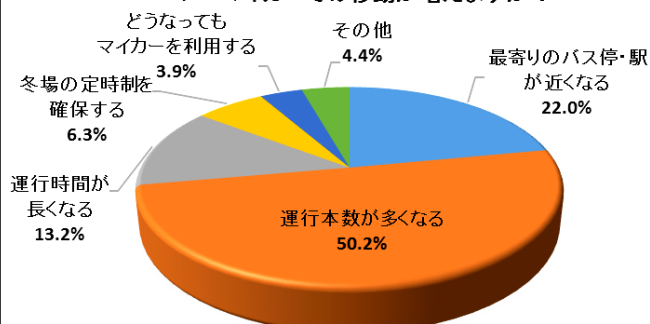
問4 公共交通サービスのこういった点が改善されれば、ノーマイカーでの移動が増えると思いますか？

「運行本数が増える」が昨年より6.8ポイント増加の50.2%で最も多く、次いで「最寄りのバス停・駅が近くなる」が22.0%で昨年同様の結果となった。

一方で「運行時間が長くなる」は昨年よりも5.8ポイント減少の13.2%となった。

その他の意見として「バス路線がわかりやすくなる」、「運賃引き下げ」、「市電路線の増設、拡大」、「自転車専用道路の整備」、「乗り継ぎの効率化」などがあげられた。

問4 公共交通のこういった点が改善されるとノーマイカーでの移動が増えますか？

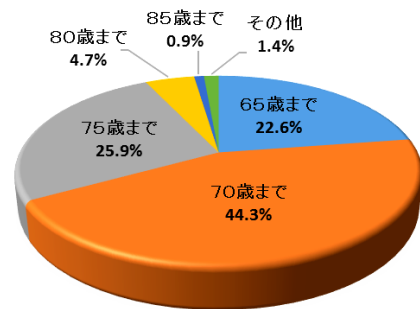


問5 あなたは何歳まで安全にマイカーの運転を続けられると考えていますか？

「70歳まで」が44.3%で最も多く、次いで「75歳まで」が25.9%、「65歳まで」が22.6%となり、これら上位3つの選択肢合計で92.8%となった。

昨年同様、多くの方が70歳前後まで安全にマイカーの運転を続けられると考えている結果となった。

問5 何歳まで安全に運転できると考えていますか？



問6 今回のノーマイカーデーへ参加されて、ご意見、ご感想などあればお聞かせください。

全体で43件の意見、感想があり、主な内容は以下のとおり。
(内容は原文のまま)

【主な意見、感想】

- ・車を維持することによって、1年間における維持管理費がどれくらいかかるのか。公共交通機関に乗り換えることによってどれだけの差が生じるのか。また、マイカーに頼らず歩くことによる健康面への影響など、具体を例示すれば、ノーマイカーへ意識も高まると思います。
- ・目的地が近いときは自家用車を使用せず、積極的に徒歩もしくは自転車を利用するよう心がけるようになったので、参加して良かったと思います。
- ・市電は一定間隔で運行しているが、バスはもう少し利便性を高める必要があると感じました。
- ・普段、車での通勤だったので、不便を感じてしまう。残業をした場合、自転車では人气が少ない所を通るので不安である。また、バスの場合は帰る便があるのか不安である。
- ・参加者が圧倒的多数となり、目視で交通量が減少したことが誰にでもわかる程度に参加者が増加し、恒例の非日常的イベントとしない限り、市民にノーマイカーデーの意義はおろか存在さえ理解させることはできない。当然、それに見合う公共交通機関がなければ、不便さを印象付けるだけである。
- ・季節の移ろいを肌身で感じることができ、有意義な時を過ごせました。朝型勤務の実施と併せて行うことができれば、より魅力的になるのではないかと思います。
- ・今回は自転車を利用できたが、雨天時や強風の時は公共機関を利用しての通勤は、職場が市役所など街中や公共交通の便が良いところであればいいが、私のように勤務箇所が公共交通の便が悪いところに勤務している人にとってはとても厳しいと感じた。
- ・意識的にノーマイカーでの移動をすることで、健康増進や運動不足の解消になるので良いと思います。
- ・自転車通勤をしましたが、自動車通勤と比べ5分程度しか時間を要しなかったため、「通勤と運動を兼ねて時間を有効に活用できたこと」「継続により健康にも効果が得られること」等ター石二鳥以上の効果があったと実感しました。

- ・大型連休の前後は、有休をとって遠出する人が多く、通常のマイカー利用と状況が変わることから、日常生活におけるノーマイカーの取り組み意識拡大につなげるためには、平日に重点をおいて実施したほうが良いと思います。
- ・月一度くらいはノーマイカーデーの取り組みをすれば良いと思います。
- ・強制力をもっと持たせた方がよい。この程度の特典なら参加人数もあまり増えない気がする。
- ・普段どれだけマイカーに（便利な生活）頼っているのか気づくことができました。徒歩や公共機関を使う機会を少し増やすことができたなら良いと思いました。
- ・良い運動になりましたので、これからもノーマイカーデー以外でもたまにはバス通や徒歩にしたいです。
- ・通勤にバスを利用しましたが、往復利用したのは2日にとどまりました。後は、仕事や寄り道などの関係で迎えに来てもらったり、結局あまり参加した意味はなかった。でも、今後、通勤以外でも公共交通機関を利用していきたいと思います。
- ・ノーマイカーデー参加特典として、運転免許証提示で市電・バス共通1・2日乗車券等の半額発売があると嬉しい。そうすると参加者にもメリットがあり、複数回実施も有りだし、浸透していくのでは。
- ・通勤、日常の買い物は、マイカーの使用は控えることはできますが、週末のレジャーは、マイカーを控えるのは難しいと思いました。
- ・先日、パリで実施された中心部への車両通行規制のように特定の日において、函館市内の観光地への通行規制をする取り組みをすれば、観光地ならではのアピールとなり効果的と思われる。
- ・この取り組みを知らない人がまだまだ多く見受けられると思います。多くの方に知っていただけるよう工夫が必要だと感じました。地球環境を考えるきっかけのためにも、自身の健康のためにも良い取り組みだと思います。
- ・普段の運動不足を実感しました。筋力の不足を充分感じました。
- ・健康増進のためにも徒歩。環境のためにもノーマイカーデーも必要。
- ・来年も又、エコフェスタで申込できたらします。
- ・ひごろ、どれだけマイカーに頼っているか実感することができた。公共の乗り物に乗って買い物と思ったが、子供を2人連れ荷物を持ってというのは難しい。
- ・天気次第でブチこわしだと痛感！学生時代と違い、車に頼りすぎ。これからもできる範囲でエコに暮らしたい。
- ・公共の交通機関を利用するのは、大切なことだと思います。利用する人がいなければ、収入減となり、維持管理ができなくなってしまいますね。特に、路面電車は、大正2年からの歴史があり、先人が引き継いでくれた大切な財産ですから、出来る限り利用して、しっかりと子どもたちへ引き継がないといけないと思います。
- ・広報が足りないと思う。
- ・自動車を使わない生活をしてみて、健康に対する意識がたかまりました。これからも実践していきたいと思いました。
- ・取組についてはとても良いと思うが、今、自分の環境から見るととても不便なのでできる環境なら良いと思いました。
- ・環境意識が少し強くなりました。今後も工夫していきたいと思います。
- ・普段と違い徒歩で通勤することで、いつもと違う景色を見ることができ、健康的にも良いと感じました。